12 月 14 日、北野小学校（三鷹市）で行われた「説明会」に、小学 2 年の息子と参加しました。

校門から、玄関まで 10 数名の職員が、うやうやしく誘導して下さり、親切にスリッパを渡してくれる方、丁寧に資料を渡してくれる方（資料の中には寒さ対策のカイロまで入ってました)、「皆さん、妙に感じがいい・・・。しかし、このカイロにも税金が使われてるんだ‥」などと思いながら、会場へ。

会場内は、前方に国交省、東京都、三鷹市のお役人が 30 名ほど陣取り、また、市民席をぐるりと取り囲むように、数十名の職員が立っていて、物々しい雰囲気でした。

まず、驚いたのが冒頭の 40 分間、スライドショーと録音（しかも、かなり低音質）をたれ流され続けたこと。市民からの「スライドが見えない！」という声にも、無反応。何十人もお役人が揃っていながら、誰一人として自分の口で市民に伝えないこと、市民の声に反応しないことが、異様に思えました。

自分が音楽の仕事をしているので、「コンサートでこんなことやってたら、2 度と仕事来ないな・・。」と思ってしまいました。

しかし、市民からの質問の時間は、とても白熱しました。6 名の方が質問されましたが、外環に反対、不安があるという意見が 5 名。その度、大きな拍手で会場が沸きました。私も、「想いを共にする市民がこんなにいるのだ。」と胸が熱くなりました。外環国道事務所の和田課長の答えによると、予算も、工事期間も、施行主体も、本当に環境に影響が無いのかも、全てがはっきりしていない状態とのこと。それで、沿線住民に理解してくれというのが、無理というものです。和田課長には「こんなに市民の反対、不安は大きいのだ。」ということを、しっかりと国に伝えて欲しいです。

質問の手が多く上がる中、会は打ち切られてしまいましたが、あまりの市民の熱気に、息子も大興奮。息子は「楽しかった〜！毎週でも来たいくらい！！」と言っていました。

毎週は勘弁して欲しいですが・・(その前に、早く中止になって欲しいですし)、本当に大切なものを守ろうとする大人達の想いはしっかりと子供に届いていました！

三鷹市　M. Y